

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) ケーズデンキ堺中央環状店	階数	地上2F
建設地	大阪府堺市北区黒土町2232番3、2	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	200 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,400 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年8月 予定	評価の実施日	2021年10月20日
敷地面積	6,314 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社辰巳大輔
建築面積	2,565 m ²	確認日	2021年10月20日
延床面積	4,908 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社辰巳大輔



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.8

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	物販店舗の売場の天井は高く、利用者に開放感を与える空間になっている。又、多数の人が使用・利用する部分の内装材には、防汚性の高い建材を使用し、維持管理に配慮した設計となっている	その他 特に無し
Q1 室内環境	内装材、接着剤、据付家具、天井断熱材、天井裏材料はすべてF☆☆☆☆を使用	Q3 室外環境(敷地内) 建物高さや色彩において周辺のまちなみとバランス良く調和させている
LR1 エネルギー	特に無し	LR3 敷地外環境 十分な量の駐輪場、駐車場を確保することで交通負荷抑制に配慮した
Q2 サービス性能	天井高さ3.95m確保し、心理性、快適性に配慮した	
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上げ材が容易に分別可能な建材を採用し、部材の再生利用に配慮した	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)ケーズデンキ堺中央環状店 新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市北区黒土町2232番3、2232番5、2235番1、2235番5の一部、2235番17、2242番1、2242番2、2248番1、2249番7、2250番1、2251番2、2251番3、2251番5、2252番1、2253番1、2253番、2255番1及び2255番2	1	B+
	主用途/延床面積	物販店 / 4,907.87 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	4	
みどり・ヒートアイランド対策	2	
エネルギー削減	3	
建物の断熱性	4	
安全快適な暮らし	3	
自然エネルギー利用	—	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO ₂ 削減	評価項目	スコア	評価点	
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.5	4	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	2	
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		2.0
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価値		2.0
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価値	3.0	
エネルギー削減	評価項目	スコア	3	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		2.9
建物の断熱性	評価項目	スコア	4	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		3.8
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	3	
	バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1. 1. 3」のスコアによる評価値		3.0
	耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2. 1」のスコアによる評価値		3.0
	地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3. 1」のスコアによる評価値		2.0
	交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2. 3. 3」のスコアによる評価値	3.0	
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	—	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.0

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	